

華ちりめん伊と錦 通信

〒755-0015 山口県宇部市篠山町1丁目2-7
電話：0836-34-2450 HP: kimono-itokin.com

★本日の目次

- 困難の連続、ハンバーグづくり
- きものって色の選び方がむずかしい！？
- 伊と錦の年末とは

早いもので、もう年末！！？？ですね
年を重ねるごとに一年が短く感じるのは何故なんでしょうね
今年最後のお便りです。ゆっくりご覧いただけますとうれしいです！ではどうぞ！

● 困難の連続、ハンバーグづくり

これで何度目かの挑戦かわかりませんが、最初のきっかけは「ひき肉を買ってみた」ことから始まります。数年も前のことですが、自分で料理をしてみようとスーパーに行った時のことです。たまには違うあかずもと思い、お肉のコーナーへ。そこで初めて買ったひき肉が発端です。パッケージがいろいろと並んでいますが、その時はどれくらい買えばいいのか分からず、とりあえず500グラムくらいのものを選びました。たぶんお腹が減っていたんだと思います・・・。そういう時はつい色々かってしまうというパターンを学びましたが。持って帰ってさあ料理をしてみるかとキッチンに立ったのですが、何を作ろうかとは考えていなかったので、半分はそぼろっぽく料理で消化。問題は次の日です。



人生初！ハンバーグというものを作ってみよう！と希望を胸に作業開始です。私の記憶（祖母や母がつくっていたシーンを回想）を頼りに、玉ねぎを刻み熱を加え、ひき肉に卵と塩とコショウをかけ、とりあえず練ってみるか？（たぶんこの時点から間違っています）とコネコネしてみました。でも確か、牛乳を入れるんだったよなと思い、牛乳を追加。もちろんゆるーいタネの出来上がりです笑。これじゃこねれないと、小麦粉足してみるか？と小麦粉投入・・・変だなぁ・・・。結局その日は、簡単に言えばお好み焼き状態へ・・・食した結果、これはないっ！と。

しばらく月日が経って、もう一回やってみるか！と発起。たまたまテレビでひき肉料理をしていたのみだからでしたが、その時名店のコックさんが、肉汁を逃さないためにうちは小麦粉と片栗粉を入れるんですよ、お肉を混ぜるのはほんの少しくらいですよ、そうしないと肉汁がトロッとならないんですよと言っていた。そこでどうかどうかと、小麦粉と片栗粉を混ぜてみたのですが・・・わかりやすく言うと、チヂミのように・・・。もう作らないっ！と思ったのでした。

それからしばらくして、娘がハンバーグにはパン粉をつかうんだよ？と会話の中でいっていたのを聞き逃しました。パ、パン粉？

そういうは……使ってないわ、知らなんだ。そしてまた、チャレンジをすることに。

今度は失敗しないぞ！と、レシピを調べます。最近はすごいですね、いろんな料理の作り方がネットに（いまさらですが）。パン粉を買い、ひき肉を買い（この時は少量のものをチョイス）、牛乳を準備し、再度挑戦です。できた料理は……簡単に言えば厚みのあるパンケーキ？の食感でお肉味といったところ……前回、前々回と比較すれば、ほんのちょっとステップアップ。コックさんってやっぱりプロだなと実感！厚みのある分、火が通ってないところもあって、最終的には電子レンジでチンをするという、進歩しつつも……何とも言えない微妙な空気が食卓に笑。もうこれは作らんっと、誓ったのですが……

そこからまた月日がたち、そして先日、賞味期限が迫ったひき肉が冷蔵庫に。僕って自分でも思うのですが、チャレンジをするのは嫌いではないようで、次はレシピを見つつ、動画も見ながら作れば上手くいくんじゃない？と再挑戦。結果は……
……
……とても歯ごたえのあるお肉の塊になりましたとさ……またまた失敗。食べ物には感謝をしないといけないので、毎度自己責任で完食です。でももう作んないと、きめたのですが、たぶん次は上手にできる！とキッチンに立っている自分を想像しています笑。次の挑戦はいかに！！？？？



● きものって色の選び方がむずかしい！？

今日はこちらのタイトルにあるように、きものって色の選び方が難しい！というお話。意外と多い「着物にかぎって、好きな色が似合うという訳ではないんだよねえ」と聞くあの話です。それはなぜか？結論から言えば、それは色を占める面積が着物の場合は広いから。たぶんこれが正解なんだと思います。

みなさん毎日、好きな色の好きなデザインの服を自然と選んで着ていますよね？これにしようか、あれにしようか迷うことはあっても、お似合いのお洋服をお選びになっています。上下でコーディネートを変えたり、おしゃれにアクセサリーやジュエリーをあわせたり。

着物の場合は、それが長襦袢につける半衿がアクセサリーと考えたら（白の半衿はオールマイティーにあわせることが可能。特に礼装は振袖以外、白が基本です）色があるところって身体の全体を占める着物の部分と、帯まわりだけです。お洋風はお袖のカタチやウエスト、スカートだったらその形、パンツスタイルだったら足の部分など、デザインや空間がたくさんあります。その分きものは、肩から足元まで空間のない長方形という雰囲気です（イラストを参照）。



そうなると、着物の柄は

あれど、帯はあれども、お顔と全体の雰囲気を一番に印象づける決め手は着物の地色ということになります。もし、好きな色なのに何だか鏡に映った自分の姿が思っていたのと違うという時は、セカンドカラーとして、それは帯締めとか半衿とかちょっとしたアクセントとしてもてくるのがぴったり。お似合いになるので良いと思います！よく母がお客様に伝えていたる言葉があります。それは「今日はなんだかお化粧の映りというか、肌がとっても綺麗に見える」そんな色がお客様にとってのおすすめの色選び。ご参考にしてみてください！！

● 伊と錦の年末とは・・・

あっという間にもう年末!! ??というくらい、一年が経つのがとても速いと感じた今年はみなさまにとってどんな年だったでしょうか？

わたしにとってはなかなかのチャレンジの年でした。例のハンバーグの件みたいに日進月歩といったところでしょうか。でもまだ今年は終わっていない！？毎年のことですが、伊と錦はみな年末ぎりぎりまで何かしら仕事をしておりまして、バタバタとしています。

年末の大変な仕事といえば「棚卸し」です。店内にある、あらゆる商品をだしてきての総点検。伊と錦は超絶アナログな店なので、1点1点商品を確認しながら在庫を調べていきます。例えば、足袋や腰紐などは同じものが数あるので、〇個と数えていくのですが、着物や帯や帯〆などは、全部が1点管理。これは〇〇という帯、これは〇〇という帯〆、とみていきます。

そうすると、ひとつずつ広げながら見ていくんですね。点検も兼ねて。そして第一声は「これ、やっぱり良いなあ」とか「これは何回か見かけたな」とか「これ、売れるちょっと淋しくなるなあ」とか。いつもそばで見て、何度も広げているものでも、「やっぱりこれ良い！うん！」と鑑賞しながら✓していくので、時間もかかるのですが改めて自前の着物や帯をみてると、それを着てたり、結んでいたりする誰かのきもの姿を自然と想像してしまうんです。これを結んだらめちゃめちゃカッコいいだろうなあと、これは価格としてはどうしても高級品だけど、やっぱり他と違うよなとか。

お商売でいうと、在庫は資産であり、お客様と伊と錦との出会いやご縁をつなぐもの。それは間違いのないものですが、着物や帯のアイテムが伊と錦の居心地が良すぎるのか、あまり自己アピールが上手ではないのか、そろそろあなたを気に入ってくれる方のところへ行ってはどう？と思うものもあります。

もしよろしければ、年末の忙しいときではありますから、あまり自己主張をしない内気な着物や帯、良い色の着物や存在感のある良い帯など、良きご縁を頂ける方をお待ちしています！店内は棚卸しということもあり、平時のように着物や帯を飾っていたりはしていません。ある意味で伊と錦の裏側がみえる瞬間です・・・・。なので逆に気兼ねなく手に取って広げて鏡の前であわせてみることができます。スタッフはもちろん伊と錦のいつものメンバーのみ。どうぞ見ていてやってください！！

年末は 12/31(水) 午後5時まで！

華ちりめん伊と錦 通信

年末と年始の ごあんない



華ちりめん伊と錦 通信

〒755-0015 山口県宇部市篠山町1丁目2-7
電話: 0836-34-2450 HP: kimono-itokin.com

年末は 12/31(水) 午後5時まで！

もしょろしければ、年末の忙しいときではあります、あまり自己主張をしない内気な着物や帯、良い色の着物や存在感のある良い帯など、良きご縁を頂ける方をお待ちしています！店内は棚卸しということもあり、平時のように着物や帯を飾っていたりはしていません。ある意味で伊と錦の裏側がみえる瞬間です・・・。なので逆に気兼ねなく手に取って広げて鏡の前であわせてみることができます。スタッフはもちろん伊と錦のいつものメンバーのみ。どうぞ見ていくってやってください！！

☆ご存じの方も多いですが、伊と錦のメンバーは3人いるので、仕入れた商品にも捉え方や見方などが三人三様。好みも違うので、それぞれに違った持ち味があります。商品一点一点にドラマやエピソードがあることも。「棚卸し」の時間なので、わたしたちは味わいながら、お越しいただいた方は、もしかしたら「こんなのがあった？」「見たことなかった」、「あの時は選ばなかったけど、やっぱり気になって仕方がない」という着物や帯がまだあり選べる可能性も。

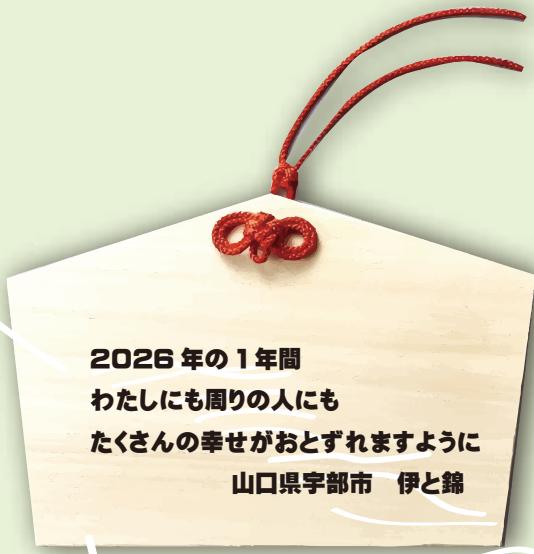
大変恐縮ですが、年末の棚卸につき、お買い求めいただいた際は商品のみ販売、お渡し、またはお預かりになります。気になるお値段はおまかせください！！また、お支払いは現金>クレジットカードにてどうぞよろしくお願いします！お仕立てや加工に関しましては別伝票にて2026年度分として承るようにいたしますのでご安心ください。

年始は1/4(日)より【初売り】です！お仕立ての際に必要な裏地や長襦袢など、初絹として特別価格にて受注を致します。また、ご案内に付属しております「札」は4枚、年末年始にお越しいただいたときに、候補を選んで頂く際に使いいただけるものになっております。いち早く選んで、後からじっくり吟味。気になるものにはっと札を置いてください。先に札をつけられた方から優先になります。今年も残りあとわずか、来年もどうぞよろしくお願いします

伊と錦一同

これが隠れた銘品だ！！

新年初の店開きなので、豪華絢爛な着物や帯、人知れずこつこつと作られた、作り手の名前はでてこない、でもとても良い作品をぜひご覧ください



初絹の受注

着物をおつくりの際に必要な裏地や、長襦袢など初売りならではの高級品もご注文いただけます！



同封の札をおもちください
あなたの溢れる魅力が
引き出されます。それがきもの

2026 新春 初売り

1.4(日) - 1.10(月) 伊と錦店内にて

着付のご依頼・教室の事は
こちらからご予約ください



入力フォームが開きます
お名前、ご連絡先を忘れずご記入ください

インスタグラム：
hanachirimen
ホームページ：
kimono-itokin.com
情報発信を
ゆっくりペースで
更新中！

検索

服を「漆黒」にそめる
真の黒とはなにか、京都紋付プロデュース

着られなくなった
大切な服。黒に染めて
もう一度着ませんか？

→ もう間もなく
新サービスがはじまります！



新春 初売り

1.4(日) - 1.10(月)

ゆったりとみれる、それが良い！
それが伊と錦の初売りです



華ちりめん伊と錦

〒755-0015 山口県宇部市笠山町1丁目2-7
電話：0836-34-2450 HP: kimono-itokin.com